

平成 26 年度全国中学校体育大会 教育長あいさつ（プログラム掲載）

〔平成 26 年 8 月〕

「若人よ 蒼き四国で 熱くなれ」のスローガンの下、ハンドボール、体操競技、バドミントン、ソフトボール及び柔道の 5 競技に出場される選手、監督はじめ多数の関係者の皆様を愛媛県にお迎えし、平成 26 年度全国中学校体育大会が、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

全国中学生のスポーツ最大の祭典である本大会に、各地区の厳しい予選を見事に勝ち抜いて出場された選手の皆さんにお祝いを申し上げますとともに、日々の厳しい練習を通して、心身を鍛え、技を磨き、良き仲間と競い合いながら自らを高めてこられた努力に心から敬意を表します。

選手の皆さんは、これから始まる各競技において、これまでの練習の成果を存分に発揮し、悔いが残らないよう全力プレーで熱戦を繰り広げていただくとともに、今まで御指導いただいた先生方、保護者、応援して下さる方々への感謝の気持ちを決して忘れないでください。そして、競技を通じて選手同士の交流を深め、多くの友情を育んでほしいと思います。

また、皆さんは、本県で 3 年後に開催される平成 29 年の「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」の主役となる世代です。是非、高校進学後も練習に励み、努力を積み重ねられ、再びこの愛媛の地に戻ってきてください。遍路文化を大切に受け継ぎ培ってきた「お接待」の心で、おもてなしできることを心から楽しみにしています。

終わりに、本大会の御成功と開催に御尽力いただきました大会関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、選手の皆さんの御健勝と御活躍を祈念して挨拶といたします。